

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	プログラミングI演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	勝瀬郁代・馬場博巳・小林順						
授業の到達目標 (シラバスから)	・Java言語によるプログラムの作成から実行までの作業内容が実際に出来る。 ・変数の役割や型について理解し、プログラムを作成できる。 ・式や演算子を理解し、プログラムを作成できる。 ・変数と制御構造を用いた基本的なプログラム(教科書の例題と同程度)を作成できる。						
日程と内容	第1回：本講義のガイダンスを行う。Javaによるプログラム作成の手順と画面への出力についての演習を行う。 第2回：インデント、コメントのつけ方、文字列・文字・数値リテラル、特殊文字について演習する。(2.2, 2.3) 第3回：変数の宣言および代入方法、キーボードからの入力方法について演習する。(3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5, 3.6) 第4回：式と演算子の種類と使い方について演習する。(4.1, 4.2, 4.3, 4.4) 第5回：if文、if～else文と関係演算子について演習する。(5.1, 5.2, 5.3, 5.4) 第6回：復習 第7回：switch文について演習する。(5.5) 第8回：論理演算子について演習する。(5.6) 第9回：for文について演習する。(6.1) 第10回：while文について演習する。(6.2) 第11回：文におけるネストについて演習する。(6.4) 第12回：break、continueについて演習する。(6.5) 第13回：総合演習 第14回：総合演習 第15回：総合演習						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題 演習	100%		計	100%		
授業到達目標の達成度	100%合格しているが、うち6名は補習による合格であるため、彼らを除いた66名を定期試験受験者数で割った0.97を達成度とする。						
反省点	基本的に、本科目は、きちんと出席して、授業中はきちんと課題に取り組んで提出すれば、必ず合格できる科目である。補習により合格となった6名は、未提出課題が多かった。累積課題点を自分で把握できるようにフィードバックしているので、確信犯である。不登校と課題未提出者への対応は、毎年の課題ではあるが、これといった効果的な方法が見つからない。						
来年度の計画	今年と同じように実施する予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価が8.0なので、まずまずよかったのではないかなと思う。 ところで、毎年思うのだが、「授業はシラバスどおりに進められましたか。」の設問に対し、回答の平均が4.1しかない。この授業は、プログラミングI、上級プログラミングIとの連携のために、100%シラバスどおりに実施されなければならない科目であり、3クラスとも、そのように実施している。 この設問の回答がほぼ5.0にならないのを見ると、どの程度、真剣に回答してくれているのか、毎年疑問に思う。						
履修登録者数	73 名	定期試験 受験者数	68 名	合格者数	68 名	合格率	100%